

2019

1

vol.167

千代川
news

清流くん

あがなみがわ

「赤波川源流探検」に行ってきました



千代川流域圏会議では、鳥取県森林環境保全税を活用して、千代川の水を育む各支川の源流を訪れ、森林や水の重要性について考えることを目的に毎年源流探検を実施しています。今年度は10月27日(土)に、智頭町から用瀬町を流れ千代川に合流する「赤波川」で実施しました。

当日は少し肌寒いながらも好天に恵まれ、いざ源流探検へ!

「赤波川」は、赤波川おう穴群として観光名所でもあります。この地帯は全国的に珍しいおう穴※がたくさん観察できることや、豊富な水量を利用して水力発電所を住民で建設したことなどを「赤波川渓谷おう穴群ガイドクラブ」の皆さんから説明いただいて、散策を楽しみました。

後半はいよいよ源流探検へ。普段入ることのできない智頭町の山中を進み、源流を探していきます。前日に降った雨の影響で足元がぬかるみ険しい箇所もありましたが、無事に源流に到着!目指した源流に辿り着き、達成感から自然と皆さんに笑顔が溢れます。参加者の皆さんからは「普段できない体験ができて楽しかった」「色んな話を聞けて勉強になった」などの感想をいただきました。

※おう穴…河床の花崗岩が、水の流れによって回転する際に削られてできたほみ。



天然記念物である赤波川おう穴群の岩のひとつについては、鬼や化け猫の伝説が残っています



赤波川の散策



いよいよ、源流探検へ! 山中を進みます



これが、赤波川の源流!

「水害・土砂災害に関するシンポジウム」を開催しました



10月27日(土)、鳥取県立生涯学習センター(鳥取市扇町)において、防災に関する意識啓発を目的とした「水害・土砂災害に関するシンポジウム」を開催しました。

基調講演では、九州大学矢野教授から昨年の九州北部豪雨から得られた教訓として今後の地域防災のあり方についてご講演いただきました。

パネルディスカッションにおいては、地域における自助、共助の取組の重要性や、公助のあり方について貴重なご意見をいただきました。



プログラム

基調講演

「平成29年九州北部豪雨から得られた教訓」九州大学教授 矢野真一郎氏

【コーディネーター】矢野真一郎氏

パネルディスカッション

【パネリスト】平家弘之氏(若桜町落折自治会長)、天野信昭氏(智頭町智頭河原町一丁目町内会長)
矢部康樹氏(若桜町長)、寺谷誠一郎氏(智頭町長)、山内政己氏(鳥取県県土整備部長)

きれいな川は私たちの貴重な財産です!

「水質事故現地対策訓練」実施

今年度も、千代川水系水質汚濁防止連絡協議会では、河川に油が流出した場合を想定して「水質事故現地対策訓練」を10月22日(月)に実施しました。

ひとたび水質事故が発生すると、私たちの生活及び環境に大きな影響を与えかねません。被害を最小限に抑えるためには、現地での迅速かつ確実な対応が大変重要となります。そのための技術力向上を目指して、オイルフェンス等を設置し油膜の拡散を防止し、回収する訓練を実施しました。水質事故が発生した場合、いち早く現地で対応を行うためには、早く、正確な通報が重要となります。

寒くなると暖房器具で灯油等を使う機会が増えるため、毎年油類の水質事故が多発しています。このような事態を防ぐために日頃から油類を取り扱う際には、特に注意して下さい。給油時にも目を離さない等、適切な管理をお願い致します。水質事故を発見された人は、次のような内容を、最寄りの河川管理者または下記事務局までお知らせ下さい。



10月22日の摩尼川で実施した
現地対策訓練の様子

何かあったら
すぐ通報!



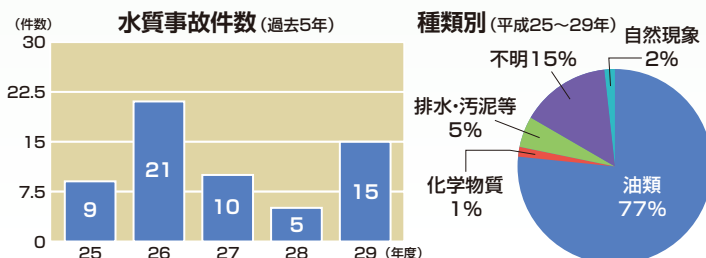
きれいな川を守るために
みんなも協力してね!
水質事故を少なくしよう。



- ★場 所…目標物(橋名、建物名など) 地名など
- ★油が浮いている…油の量、油膜の幅・長さ、色、臭いなど
- ★魚が浮いている…浮いてる魚の数、種類など
- ★原 因…交通事故、機械の故障、不法投棄など

川の汚染を見つけたらすぐにお知らせ下さい!

千代川水系水質汚濁防止連絡協議会(鳥取河川国道事務所内)
☎0857-29-1967



殿ダム雪まつり

子どもから大人まで楽しめる
ゲームコーナー盛りだくさん!

開催日時 平成31年
2月17日(日) 10:00~15:00

場 所 殿ダム記念広場・殿ダム交流館

(車/鳥取駅から20分、バス/中河原線 終点山崎橋下車 徒歩5分)

- 参加費は無料です。
- 事前申し込みは必要ありません。
- キックターゲット、創作雪だるま、そり遊び等々、遊びは盛りだくさんです。
- 唐揚げ、カレーなど出店もあります。(有料)
- 雪が積もってなくてもイベントは実施します。



とのまるくん

《問合せ先》 殿ダム交流館 ☎0857-77-4607

湖山池「石がま漁祭り」

石がま漁は厳冬期に行われる寒ブナ漁で、全国的に見ても湖山池にしかない珍しい漁法として知られています。三津地区石がま保存会が伝統文化を守ろうと年に一度漁をしており、その様子を見学できる貴重な機会です。



開催日時 平成31年 1月下旬~2月上旬を予定
(詳細日時は、平成31年1月上旬に決定します)

場 所 鳥取市三津

《詳しくはこちらへお問い合わせください》

問合せ先 湖山池情報プラザ ☎0857-31-2900



かっぱ通信

事務局
だより

例年、豪雪地帯や、緊急的に雪の受け入れが必要になった地域においては河川敷を雪捨て場として活用しています。千代川でも大雪の際には、国・県・市の除雪作業で出てきた大量の雪の受け入れを行っています。なお、河川の水位上昇やゴミの流下に配慮して、水中への投棄は行っていません。

お知らせ 次号の千代川ニュースは、
3月号(2月下旬発行)の予定です。

(発行・編集) 〒680-0803 鳥取市田園町4丁目400番地 千代川流域圏会議事務局
国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 河川管理課 TEL0857-22-8435 FAX0857-29-1859

今までの千代川newsは、ホームページでご覧いただけます。 <http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/river/conference/>